

「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクト  
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport/>

# NEWSLETTER

## 目次：

女性研究者支援について 思うこと	P1
研究者(志望者)対象 キャリアセミナーを開催	P1
グローバル・メンター交流会 を開催	P2
研究支援補助員の全学教員へ の拡大、スタート!	P2
フチSocial Café(育児編) ～山岡 三治先生を囲んで～ を開催	P2
第9回男女共同参画協会連 絡会シンポジウムおよび 女性研究者研究活動支援事業 合同公開シンポジウムへ参加	P2

## 女性研究者支援について思うこと

理工学部准教授 神澤 信行



私の周りには多くの優秀な女性研究者がいます。私に実験のいろはを教えてくださいました先生をはじめ、研究室の後輩、私をはじめで教員になったときに指導した学生達、そして現在上智で共に働く先生方と、身近な人だけで考えれば、学位を持つ男性と女性はほぼ同数です。

しかし、私が女性研究者の置かれた立場を明確に意識したのは、留学先の米国での事でした。留学先の研究室では大学院生とポストドクを含め7名中4名が女性でした。私が留学中にも西海岸側で職を得たからと、家族全員で東から西へと大移動する女性研究者を見た時は大きな驚きでした。男女平等、同じ土俵で、と口では言うものの、その実体が

ここにはあると実感しました。同時に自分もその立場になったときに、同じ対応が出来るのか不安に感じたのを覚えています。私の知る日本の女性研究者の何名かはやはり何らかの閉塞感と上手に付き合わざるを得ない状況である事を聞き知っています。米国と日本とでは様々な点が異なり単純な比較は出来ません。また、問題の根は深く大きく、その底を見ることすら出来ません。しかし、今思うことは、問題があるという事を認識し、考え、行動すること、目をそらすことは止めようということです。最後に、女性研究者にとってよりよい環境は、男性研究者にとってもよりよい環境であると確信しています。

## キャリア形成支援

「自分のキャリアを自分で描くには・・・」  
 ～研究者(志望者)対象キャリアセミナーを開催～

2011年10月24日(月)、重村 均氏((独)理化学研究所人事部人材開発課キャリアアドバイザー)を迎え、研究者(志望者)対象キャリアセミナー「自分のキャリアを自分で描くには・・・」を開催し、若手研究者及び研究者志望の学生7名が参加しました。

重村氏は、理化学研究所における若手研究者を事例として、ポストドクターや研究者の現状と就職活動等について話し、研究者として生きることを参加者に問いかけました。その後、本学のために作成されたキャリア形成のための自己分析シートを使って、作業をしました。

個別面談では、「就職活動と研究のバランスの取り方」や「専攻分野特有のキャリア形

成」等の相談があり、重村氏が丁寧にアドバイスをされました。参加者からは、「今後も相談をしていきたい」「研究者のキャリアについて現状を把握することで、自分のキャリアについて見つめ直すチャンスになった」等の感想がありました。



～ お知らせ ～ 2012年1月、上智学院に男女共同参画推進室が新設されます。

## グローバル・メンター制度

## Nina先生によるグローバル・メンター交流会



2011年11月18日(金)、コモンスペースにてグローバル・メンター交流会を開催しました。この交流会は、本プロジェクトで行っているグローバル・メンター制度の一つで、海外の研究者を囲んで研究内容から研究環境まで様々な話題について自由に語り合うことで、グローバル・メンターの人となりを知り、今後の個別相談につなげていこうというものです。

今回のゲストはコロンビア大学のNina Berova氏で自己紹介、自身の体験など、様々なエピソードを交えながらアメリカの女性研究者の研究環境等について話され、参加している研究者と活発な意見交換がされました。



## 両立支援

### 研究支援補助員の拡大



本プロジェクトの助成金を受け、2011年11月から2012年3月までの期間を対象として、子育て中の教員への研究支援補助員を理系女性教員から全学女性教員又はパートナーが研究者である男性教員にも拡大した募集を行いました。

これに伴い、11月より6名(総合人間科学部・国際教養学部・外国語学部・法学部・経済学部・理工学部各1名)の教員に対して週6時間の研究支援補助員の配置を始めました。

すでに本制度を利用している教員からは、「勤務時間が限られる育児中の研究者にとって、文献検索を網羅することは、なかなかの困難を極めるが、研究支援員の方の文献検索サポートにより、自身の研究分野に関する動向を把握することが容易になった」といった意見もあります。これを踏まえ、今後の研究支援補助員のあり方を継続して検討していくこととなります。

### プチSocial Café【育児編】

### ～山岡 三治先生を囲んで～

2011年11月30日(水)、コモンスペースにおいて、山岡先生(総務担当理事・男女共同参画本部長)と、育児支援(研究支援補助員を配置)を受けている男女教員5名のランチタイム交流会を実施しました。

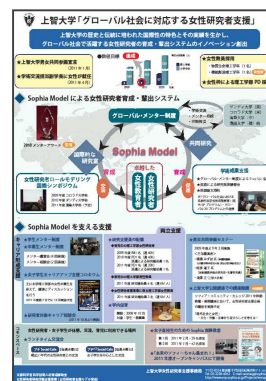
この会は、子育て中の教員のリアルな意見を学院上層部に直接届けることを目的とした、初の試みでした。子育て中の先生方からは、子育ての楽しさや苦労話に加えて、休日の授業日や学内の役職の負担について、学内託児所の改善点など体験者ならではの様々な感想や提案が出されました。それに対して神父様であり、子供が大好きだという山岡先生は終始和やかな雰囲気でお答えくださり、大変有意義な時間となりました。



## 第9回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 女性研究者支援活動支援事業合同シンポジウム 報告

◆2011年10月31日(月)、筑波大学で開催された第9回男女共同参画学協会シンポジウムに参加し、本学の事業のポスター掲示をしました。

◆2011年11月1日(火)、2日(水)にわたって筑波大学東京キャンパスで合同シンポジウムが開催されました。本学からは、本事業の推進代表者である早下理工学部長をはじめとして7名が参加しました。地域ごとにグループ分けされたディスカッションでは、各大学の進捗状況と問題点を報告し、情報の共有と打開策について話し合いました。その後、全体のシンポジウムでは各研究機関の特徴ある取組発表がありました。年に一度、女性研究者支援の関係者が一同に集まる本シンポジウムは、大変刺激的で有意義な2日間でした。



2011年10月1日～15日にわたり、本学理工学部博士課程の在学学生に対して意識調査としてアンケートを実施し、回収率は41%でした。この結果は2012年1月に報告いたします。ご協力ありがとうございました。

### 編集後記：

東日本大震災という未曾有の天災に見舞われた本年も、追悼の意をこめたクリスマスのイルミネーションが街を灯し、終わりを迎えようとしています。この1年、皆様からいただいたご協力に感謝いたしますとともに来年も頑張っておりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

### 問い合わせ・連絡先：

上智大学女性研究者支援事務局  
102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 (10号館3階315号室)  
電話：03-3238-4052 mail：wrsswg@sophia.ac.jp  
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/rsupport>

